輝きと活力のあるまちづくり

16人の議員が一般質問

質問は6月13日、14日、15日の3日間で行いました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 通学路の安全対策を

答 可能なものから順次実施

岡本亮一 議員（共産党）

発展のためには、中小企業の活動がより一層活発になることが大切である。そこで、雇用や地域経済を支える中小企業を地域づくりの主体としてとらえ、その振興を行政の重要課題として位置付ける「中小企業振興基本条例」を制定すべきと考えるがどうか。

経済環境部長　本市では、ビジネスフェアin京たなべの開催による新市場への開拓支援など中小企業施策を行っている。これらの施策は、中小企業憲章や中小企業振興基本条例の基本理念の趣旨に沿った内容になっており、ただちに条例を制定することは考えていない。

②本市が発注する公共事業・委託事業で地元業者の受注機会を増やし、適正な労働環境や事業の品質確保を目的に、首長と事業者の責務を明記するなど、ワーキングプア解消のためにも最低賃金を上回る報酬支払いなどを事業所に義務付ける「公契約条例」を制定すべきと考えるがどうか。

総務部長　賃金や労働条件に関することについては、基本的に国が必要な法整備を行うことが必要であると考えている。

③通学路の実態調査を行い、危険箇所を把握し早急に安全対策を講じるべきと考えるがどうか。

教育部長　通学路の実態調査については、一斉調査を全校長・園長に指示し、通学路安全対策庁内会議で早期に対応策をとりまとめ、可能なものから順次実施したいと考えている。

④盲導犬に対する医療費や飼育費用などの助成制度をつくるべきと考えるがどうか。

保健福祉部長　他市の導入事例など助成制度等を調査したが、個人給付という点を考慮すると、検討は続けたい。

①中小企業は、地域経済と雇用の主要な担い手として大きな役割を果たしており、経済の持続的

信号のない横断歩道を渡る児童
（同志社山手地区内）

問 視覚障がい者 音声コード導入を

答 福祉計画書概要版に印刷

櫻井立志 議員（公明党）

①平成23年3月の職員研修で、視覚障がい者のための音声コード導入研修を実施されたが、その後の取り組み状況は。

保健福祉部長　活字文書読み上げ装置を庁舎と社会福祉センター窓口の2カ所に設置。音声コードについては、本市策定の障害福祉計画等の概要版に印刷、発刊した。

②人工内耳を装着している聴覚障がい者への支援を強化するため、スピーチプロセッサの買い替えや修理に必要な費用の一部、電池購入費用の助成を図る考えは。

保健福祉部長　買い替えや修理、電池にかかる費用については、自立支援医療の対象になっていないため、今後の国の動向を注視していきたい。

③自閉症の早期発見に有効とされる、1歳6カ月児健診時の問診項目に、子どもの行動に関する23項目の質問に対し、保護者が答えるという手法、M-CHATの導入を図るべきと考えるが。

保健福祉部長　本市ではM-CHATの項目も含めた問診を行っており、当面は現在の方法を継続していきたい。

④本市のがん検診に前立腺がん検診を追加し、PSA検査を実施し、助成を図るべきでは。

保健福祉部長　国のがん検診指針に位置付けがされてなく、市のがん検診として実施する予定はないが、国の研究班の動向に留意していきたい。

⑤胃がん予防に効果があるピロリ菌検査を胃がん検診の項目に入れ、除菌治療費の助成を図るべきと考えるが。

保健福祉部長　発がんの原因との認識はあるが、国のガイドラインで推奨していないため、今のところ実施の考えはない。

⑥災害発生時の初期活動及び消防車進入が困難な地域に効果のある消防バイクの導入をすべき。

消防長　一定の効果は承知しているが、今のところ導入の考えはない。

福祉計画書に印刷された音声コード（右下）

用語の解説

◆バル
（2面左10段目）
スペイン語。表記は「BAR」。日本の「バー」とは意味合いが違い、気軽に立ち寄れる喫茶店・居酒屋などを催しとして行われることが多い。

◆M-CHAT
（3面右6・7段目）
Modified Checklist for Autism in Toddlersの略。英国で考案された乳幼児期自閉症チェックリスト（CHAT）をアメリカで修正を加え発展させたもの。親が23の質問項目に対して「はい・いいえ」で回答することで、自閉症スペクトラム・広汎性発達障害を早期に発見することができる。

◆PSA検査
（3面右7段目）
前立腺がん検査に用いられる血液検査。
PSA（Prostate Specific Antigen）とは「前立腺特異抗原」のことで、前立腺から分泌される物質のことをいう。健康な男性の場合、このPSAが血液中に浸出することは稀であるため、血液中からPSAが検出された場合、前立腺に疾患の疑いがあるといえる。

◆ヨウ素剤
（4面右9・10段目）
原子力発電所等に何らかの事故がおき、放射性ヨウ素が施設外に放出された場合、放出された放射性ヨウ素は、呼吸や食物とともに体内に取り込まれ、甲状腺に集まる。
そのため、事前に（安定）ヨウ素剤を服用し、甲状腺をヨウ素で飽和させておくことで、放射性ヨウ素が甲状腺に集まることを防ぎ、甲状腺への放射線被曝を阻止、低減させることができる。

◆ロタウイルス
（7面右3段目）
経口により感染し、主な症状として嘔吐と下痢がある。5歳までにほぼ100％の乳幼児が感染するといわれており、中でも生後半年から2歳前後に感染すると最も重症化するといわれている。

◆磁気誘導ループシステム、FM補助システム
（7面右9段目）
どちらも「聴く」という行為を補助・支援するシステム。
磁気誘導ループシステムは、磁界を発生させるワイヤーを輪のようにはわせることで音声磁場を作り、磁気ループにより

もたらされる磁気を受信し、音声信号に変換し、補聴器に直接音声を送り込む。
FM補助システムは、FM電波を通して、送信機を持った話し手の声を受信機を持った聞き手の補聴器へ送る。

お詫びと訂正

前回137号（5月1日発行）の9面、一般質問に関する記事において、青木綱次郎議員の名の記載に誤りがありました。お詫びするとともに、次のとおり訂正いたします。
名の「網」と言う文字を「綱」と訂正いたします。

議会日誌

【5月】
1日　広報編集特別委員会
9日　千葉県我孫子市議会視察来庁
15日　建設経済常任委員協議会
22日　全国市議会議長会（～25日）
24日　市議会議員共済会代議員会
29日　議会運営委員会

【6月】
1日　議会運営委員会（14日、25日、27日）
4日　幹事会
7日　京都府市議会議長会
13日　第2回定例会〈議案上程〉
14日　第2回定例会〈一般質問〉
15日　第2回定例会〈一般質問〉
19日　第2回定例会〈一般質問〉
20日　文教福祉常任委員会
21日　建設経済常任委員会
29日　総務常任委員会

【7月】
10日　第2回定例会〈議案採決〉
11日　広報編集特別委員会
13日　宮城県大郷町議会視察来庁
18日　山城地区議長連絡協議会定例会
19日　幹事会
23日　総務常任委員会管外研修（～20日）
31日　第1回議員研修会

（以上主なもの）